



株式会社日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832
 MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
 WEB: https://homenikkankinzoku.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配送料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

年頭所感

一般社団法人日本マグネシウム協会
会長 井上 正士



新年あけましておめでとうございます。

令和6年初の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症へ移行することとなり、3年に及んだ厳しい感染症対策も大きく緩和されました。街に人の流れが戻り、出張や旅行で国内、海外へと移動する機会も増え、我々としまでも、皆様と直接お会いして仕事をする機会が増え、ようやく従来とおりの生活ができる環境に戻って参りました。

これに加え、円安が進行したことの影響を受け、インバウンド需要の増加や、自動車などの輸出関連の販売が増加したことにより、我が国の経済状況は回復傾向にあるようですが、一方で、我々のような国内の製造業におきましては、世界情勢や円安の影響による材料及び部品価格の上昇、引き続き調達遅れ、更にはエネルギー価格の上昇、人手不足と、厳しい状況が続くこととなっております。

我が国のマグネシウム業界ですが、貿易統計による輸入量の数値を見ますと、令和5年の国内需要量は前年から減少し、3万トン程度になるものと見られています。

令和3年の後半に高騰した中国品のマグネシウムの価格は、以前に近い3,000\$/t台前半で安定的に推移しましたが、中国におけるマグネシウムの生産量、輸出量が前年から大きく減少しており、国際的にも厳しい一年となりました。

さて、令和6年でございますが、国際マグネシウム協会(IMA)によるIMA国際会議が、コロナ禍における令和2年、3年の2度の中止を経て、5月に福岡市で開催されることとなりました。マグネシウムの原料供給で重要な中国や自動車部品への積極的なマグネシウム採用を続ける欧米の関係者と、我が国において直接交流を図ることができる貴重な機会となります。令和3年にIMA国際会議に合わせて実施することを計画しながら実現することができなかった協会設立30周年記念の祝賀会も遅ればせながら、この時に実施させていただきます。会員各位、そして海外のマグネシウム業界の関係者と共に、今後のマグネシウム業界の発展へ向け議論する貴重な場となることを期待しています。

マグネシウムは、構造材料として使える金属の中で、最も軽い金属であり、輸送機器の構造材料などに使用されれば、軽量材料として、省エネルギー、CO2排出量削減に貢献する材料となります。一方で、原料から製品化までの製造工程におきましては、原料生産時のCO2排出量、溶解作業に使用する防燃ガス、加工時に発生する切りくずの処理など、環境対策に関わる課題が残されている材料でもあります。

これらの課題に関し、原料につきましては、NEDOの先導研究プロジェクトで実施しております、電解法によるマグネシウム製錬の技術開発を継続して参ります。今年度で先導研究の事業が一息ついたいたしますが、国内での製錬実現へ向け、本格的なプロジェクトへと移行する体制を整えて参ります。

環境面としましては、当会の自動車マグネシウム適用拡大委員会が開発した、溶湯難燃マグネシウム合金の普及にも注力したいと考えております。材料開発は令和元年度に終えており、現在はその派生として、自動車のホイールへの適用へ向けたプロジェクトが行われております。溶湯難燃マグネシウム合金は、製造時の安全性を高め、防燃ガス等の使用量低減により製造時のCO2排出量を削減するといった効果が期待できる材料です。

また、令和4年度まで実施されていた、革新的新構造材料等研究開発の事業では、難燃性マグネシウム合金による押出材、圧延板材が開発されています。それらの材料により製造された新幹線試験車両用床材は、実際に試験車両に設置され走行されております。

当会としまでも、マグネシウムの課題である燃焼性を改善し、環境にも優しい、これらの「難燃性」が付与された材料の汎用化へ向け、講演会、展示会等を通じて、普及促進に努めて進めて参ります。

ものづくりの業界は、地球環境への対応や国際情勢の変化、労働環境の変化、AI技術の進展などにより大きな変革の中にあります。様々な材料が混在する中において、使用量が多いとは言えないマグネシウムではありますが、それらの影響を大きく受ける側面があり、近年の国内需要は大きな成長は見られず厳しい推移が続いております。

しかしながら、産学官の連携により、様々な技術開発のプロジェクトは進展しております。当会におきましても、安定供給、用途開発、環境対策、安全対策への取り組みと共に、標準化、育成などの事業を継続して行い、マグネシウム業界の健全で安定的な発展に努めて参ります。我が国のマグネシウム産業の成長と一般社団法人日本マグネシウム協会の充実に対し何卒倍旧のご支援をお願いいたしますと共に、会員並びに関係各位のご健勝とご発展を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
 亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役会長 **林 昭宏**

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531~5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351~2

年頭所感

経済産業省 製造産業局

局長 伊吹 英明

はじめに

令和6年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は、これまで3年間続いた長いコロナ禍が収束に向かい、ポストコロナの社会・経済に活気が戻った一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東紛争の激化など、我が国を取り巻く地政学リスクの厳しさが一段と増した年になりました。

こうした中、日本経済は、これまでのコストカット型のデフレ経済から、持続的な賃上げや活発な投資でけん引する成長型経済への転換局面を迎えています。昨年、国内投資見通しは名目100兆円と、過去最高を更新したほか、実に30年ぶりとなる高水準での賃上げが実現されました。

本年は、こうした成長軌道への変化を一過性のものにならないためにも、更なる投資の活発化と価格転嫁を促すことで、もう一段の賃上げを実現し、成長と所得向上の好循環をさらに進める一年にしたいと思っております。

その実現に当たって、政策の重点は、「GX（グリーントランスフォーメーション）」「DX（デジタルトランスフォーメーション）」「経済安全保障」の3軸による投資の促進だと考えています。本年も産業界の皆様と緊密に連携しつつ、この3つを政策軸として我が国製造業の成長のために全力を尽くしてまいります。

GX

昨年末のCOP28の成果文書では、「化石燃料からの移行を進める」という文言が盛り込まれるなど、一層の取組強化の必要性が確認されました。脱炭素の世界的な潮流は想像を超えて速く、産業界にも変革を迫る圧力は年々高まっており、官も民も一歩前に出た取組が求められています。

世界各国では、米インフレ削減法やEUグリーンディール産業計画に代表されるように、したたかに自国に投資を誘導する投資促進策を加速させています。我が国は、エネルギー安定供給、産業競争力強化と排出削減の同時実現に向けて、昨年5月に「GX推進法」「GX脱炭素電源法」を成立させ、7月にはGX推進戦略を策定しました。その中では、「成長志向型カーボンプライシング構想」を掲げ、投資促進策と規制・制度の両輪で様々な施策を進めているところです。

特に、排出削減に効果が大きく、我が国産業の競争力強化に資する取組のうち、企業だけで取組むには負担が大きいものには、官も前に出て支援していくこととしています。既に、脱炭素化に向けた研究開発・実証を支援している「グリーンイノベーション（G1）基金」では、水素還元製鉄技術や、CO₂を用いたプラスチック、コンクリートの製造技術等を開発するプロジェクトを進めています。また、昨年末には、「分野別投資戦略」として鉄鋼、化学、紙パルプ、セメントといった「Hard-to-abate」産業、すなわち製造過程での排出削減が困難なセクターや、自動車、航空機等を含めた16分野でのGX実現に向けた方向性と投資促進策を策定し、今後、プロジェクトの具体化を進めることとしています。加えて、GXに関する取組のうち生産段階でのコストが大きい戦略分野の投資については、初期投資支援の他に、生産・販売量に応じたインセンティブを受けられる減税措置を新設しました。

GXの実現には、こうした投資促進策だけでなく、規制・制度による取組も重要です。カーボンプライシングにより炭素排出に価格を付け、GX関連製品・事業の付加価値を向上させる取り組みを進めます。また、多くの企業にご参画頂いているGXリーグにおいて、排出量取引を実施していくとともに、グリーン市場創造に向けたルールメイキングを進めております。またGXだけでなくサーキュラーエコノミーの実現という観点から、金属、蓄電

池材料、繊維などの分野で資源循環の取組も進めてまいります。

こうした施策に基づき、国内にGX市場を確立し、サプライチェーンをGX型に革新するなど、GX実現に向けた取組を政府としても後押ししてまいります。

自動車業界でもカーボンニュートラルの実現が大きな課題となっていますが、足下では「EVシフトの加速」と「中国の台頭」という2つの潮流が状況を大きく変えています。我が国は、EVに加えて水素、合成燃料など「多様な選択肢」によってカーボンニュートラルを実現する方針ですが、その中でも日系メーカーが「EVでも勝てる」競争力を獲得することが重要です。EVにとってコアな技術である蓄電池やモーターをはじめとしたe-Axleの開発や投資への支援、EV等の生産・販売量に応じた減税措置、国内のEV市場の立ち上げに向けた電動車の購入補助や充電インフラの整備など、総合的に取り組んでまいります。

経済安全保障

GXと並び世界的な課題となっているのが経済安全保障です。資源に制約のある我が国は、従来より米中をはじめとする諸外国と活発な貿易関係を築くことで経済発展を進めてきました。しかしながら、米中の厳しい対峙、コロナ危機、ロシアによるウクライナ侵略など国際情勢が厳しさを増す中で、サプライチェーン上のリスクが顕在化しており、改めて日本の国際的な立ち位置を確認しながら経済安全保障の取り組みを進めなければなりません。

政府としては、特定の国や地域に過度に依存しない、自立性の高い経済構造を実現すると同時に、研究開発強化等による技術・産業競争力の向上や技術流出の防止により優位性を確保するため、産業界との対話・協力の下、あらゆる施策を総動員して取組を進めてまいります。

具体的には、「経済安全保障推進法」に基づき指定した11の「特定重要物資」のうち、製造業の関連では、永久磁石や工作機械・産業用ロボット、航空機の部品、半導体素材などの我が国の生産基盤を支える物資について、安定供給の確保に資する民間企業の設備投資や、これらに不可欠な重要鉱物の備蓄、研究開発の取組を後押ししてまいります。また、2022年から始まった経済安全保障重要技術育成プログラムを活用し、宇宙・航空、海洋、サイバー等特定の先端的な重要技術について官民による研究開発を推進していきます。

DX

GXや経済安全保障の課題に対応するに当たり、また、企業の競争力の基盤という意味でも、デジタル化への対応は不可避です。デジタルによる既存のビジネスモデルの変革や、生成AIの登場による付加価値の源泉の変化などDXによる産業構造の変化を捉え、先を見据えて手を打っていくことが求められています。

政府としては、デジタル社会の基盤を支え、GXや経済安保の観点からも重要な物資である半導体・蓄電池の投資に対して、大胆な政策措置を講じてきました。こうした支援に加え、国民生活や経済社会を支えるデジタル時代の社会インフラ、すなわち、「デジタルライフライン」の整備についても取り組んでいます。移動・物流課題の解決手法とすべく「レベル4」の自動運転技術を活用したサービスの実現に向け、自動運転タクシー・トラックの社会実装を支援していきます。

さらに、我が国製造業の競争力強化に向けて、DX投資を後押しします。DX投資促進税制等の既存の政策に加えて、経営課題に立脚した、自社にとっての最適なものづくりを考えることが必要であるという認識の下、製造事業者のDXの目指すべき姿をお示しできるように、スマートマニュファクチャリングのガイドラインの策定を進めています。足元の人手不足に悩む中小企業等には、ロボット導入などの省力化支援も進めてまいります。

また、デジタル技術やデータを用いた新たな産業構造における競争力を獲得するため、航空機産業におけるモデルベースシステムズエンジニアリング等の技術を活用した新たな開発手法や、3Dプリンターによる「ものづくり」の変革、自動車産業におけるサプライ

チェーンデータの連携にも取り組んでいきます。

事業者の皆様には、こうした施策を積極的に御活用いただくとともに、経営や組織のあり方を根底から変えていくような強い意思を持ってデジタル化に取り組み、企業の競争力強化に繋げて頂くことを期待しています。

宇宙産業

人類初の月面着陸から半世紀余り、かつては国の威信をかけ各国が開発競争を繰り広げた宇宙分野に、2000年代以降、民間企業が相次いで参入しました。今や安全保障上も極めて重要な宇宙分野において、我が国が一定のプレゼンスを確保できるかの分水嶺に 있다고考えています。

政府としては、これまで研究開発のみを行ってきたJAXAにファンディング機能を持たせるといった歴史的な転換を図るべく、昨年の臨時国会において改正JAXA法を成立させるとともに、1兆円規模の「宇宙戦略基金」の設置を決定しました。経済産業省としても、本年、宇宙産業室を「宇宙産業課」として強化し、小型衛星コンステレーションの構築やそれを用いたデータビジネスといった、宇宙分野でのビジネスを強力に後押しする体制を整え

るとともに、JAXAとの連携を抜本的に強化してまいります。我が国には、小型SAR衛星や光通信衛星、宇宙輸送技術などの分野で、世界でも有数の優れた技術を有する企業があります。こうした技術をビジネスにつなげ、我が国宇宙産業の発展と、宇宙活動の自立性の強化に貢献できるよう取り組んでまいります。

おわりに

産業界が今直面する課題は、官も民も一歩前に出て取り組まないと解決できないため、国内外で活躍されている産業界の皆様との日々の対話を通じ、将来につながる日本の経済基盤をともに形作っていきたくと考えております。

GX、DX、経済安全保障といった新しい経済の軸に合わせ、成長につながる投資の形や事業分野の中身も変わっていきます。このように、外部環境が大きく変化する時代において、次の世代に世界で勝負できる成長産業を残し、また創っていただけるか、現役世代の我々に懸かっています。こうした覚悟をもって、本年も全力で取り組んでまいります。

最後に、皆様の益々の御発展と、本年が素晴らしい年となることを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

令和6年の新春を迎えて（一部省略）

全国鍍金工業組合連合会

会長 神谷 篤

新年あけましておめでとうございます。

相変わらず世界情勢は混迷を極め、同時多発的に世界中で争いが起こっています。耳障りの良い持続可能な社会の実現や二酸化炭素削減は、まず尊い命が失われる争いを止めてからの話だと思えます。自分の無力さに嫌気が差します。

我が国が直接被害や攻撃を受けている訳ではありませんが地球というグローバル社会の一員として様々な影響があります。めっき資材、エネルギー高騰、賃上げ要請、円安と様々な圧力により利益を圧迫しています。このように向かい風の一年でしたが私ども全鍍連の活動はコロナによる三年の自粛から開放され概ね通常通り行うことができました。

さて時代は激しく変化し、社会構造や経済活動は予測のできない時代の始まりとあって良いでしょう。産業革命以降、我々は技術の発明から発展、更に改良改善によりさらに利益の拡大、事業の拡大を行ってきました。しかし昨今このような連続の経済ではなく、突然全く新

しい産業が発現する時代になりました。コンピューターが全世界を結びネットワークビジネスがいきなり世界を席巻し、自動車産業のよりに積み上げてきた技術の蓄積とは無関係に全く異なる形態の電気自動車既存の企業を駆逐するような状況が起きています。

これから社会はどうなっていくのか、産業界はどちらに向いていくのか、我々めっき業界はどの方向に進めばいいのかということを考える必要があります。今までのように昨日と同じことをしては、あっという間にかき消されてしまうかもしれない時代を強く感じます。あらゆる情報を集め意見を摺り合わせ共に業界の発展を考えていきたいと思えます。特に次世代を担っていただく若いみなさんの柔らかい頭脳、アイデアそして行動力に期待しています。未来は訪れるものではなく創るものという言葉信じ前進したいと思えます。

本年も全鍍連活動に変わらぬご支援ご鞭撻をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



ペルー：加Condor Resources社とTeck Peru、Cobreorco銅・金探査プロジェクトのオプション及びJV契約を締結

1月2日付、加Condor Resources社の発表によると、同社は加Teck Resources子会社のTeck Peru社とCobreorco銅・金探査プロジェクト（Apurimac州）のオプション及びJV契約を締結した。

契約によると、Teck側は3年間で4mUS\$の探査費用と計500kUS\$のキャッシュを支払うことにより55%の権益を得ることができる。契約締結時には80kUS\$が支払われた。試錐に必要な許認可が得られると、3年間の期間が始まる。この第1のオプション権行使に当たっては、両社は持株会社を設立する。

第2のオプションは、続きの3年間でTeck側が6mUS\$の探査費用と600kUS\$の追加キャッシュを支払うことで権益を75%に引き上げることができる。

2023年6月、Condor Resources社はエネルギー鉱山省（MINEM）に対し、4km2の範囲内の最大40の試錐座から試錐を実施するための環境影響申告書（DIA）を申請した。

本プロジェクト50km2の範囲内には銅・金の鉱化を伴うポーフィリとスカルンが分布しており、物理探査により抽出された2km2の範囲内で鉱床発見可能性が高いと見込まれている。

非鉄金属全般

岡田商店

代表 岡田兼典

580-0046

大阪府松原市三宅中4-20-14

電話：072（289）8936（代）

ファックス：072（289）8937

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

PW: nikkin202401

故銅市況

12日朝入電の海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,285.00ドルより47.00ドル高の8,332.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,269.00ドルより6.80ドル安の8,262.20ドル。3か月物前場売値は、前営業日の8,389.00ドルより37.00ドル高8,426.00ドル。3か月物終値は、前営業日の8,370.50ドルより15.50ドル安の8,355.00ドル。COMEX（ニューヨーク商品取引所）銅相場の3月限は前営業日の378.10セントより0.45セント安377.65セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の2月限は、前営業日の6万7,930元より100元高の6万8,030元。

12日の東京為替市場TTSレートは、前日の146.65円より0.33円の円高ドル安、1ドル=146.32円。12日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,332.00ドル。この値と12日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の125万2,000円より5,000円高の125万7,000円。この日、電気銅建値は124万円に据え置かれた。

為替動向

11日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=1.0940ドル～1.0950ドルで推移した。この日発表された米国の23年12月CPIで上昇率が市場予想を上回ったことからドル買いが優勢になった。ただ、物価については鈍化傾向が続くとの見方が根強くドルの上値は抑えられた。英ポンドも対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0020ドルのポンド安ドル高、1ポンド=1.2710～1.2720ドルで推移した。

11日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに反発した。前日と比べ0.50円の円高ドル安、1ドル=145.20円～145.30円で取引を終えた。この日発表された米国の23年12月CPIの上昇率が前月比で0.3%と市場

アルミニウム二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (1月前半)

2S=191円～212円、63S=176円～227円、アルミホイール(1P)=193円～207円、ビス付サッシ=91円～100円、エンジンコロ=92円～104円、込合金(機械鋳物)=92円～100円、缶プレス(ソフト)=62円～72円。

関西地区 (1月前半)

2S=205円～217円、63S=207円～242円、印刷版=202円～207円、アルミホイール(1P)=198円～241円、ベースメタル=126円～131円、機械鋳物=87円～91円、ダライ粉=104円～107円、ビス付サッシ=92円～117円、缶プレス=75円～80円。

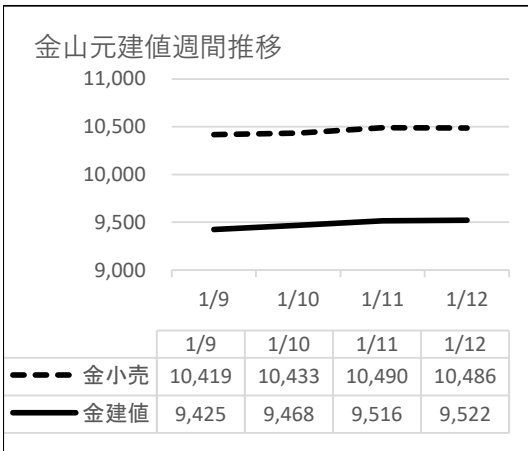
予想の0.2%を上回った。前年同月比でも3.4%で市場予想の3.2%を上回っており、利下げ開始が遅れるとの見方が拡がり円売りドル買いが先行したが、その後長金利が下げに転じたことで円買いドル売りが優勢になった。

12日早朝の東京外国為替市場でも円相場は上昇した。8時30分、前日17時と比べ0.34円の円高ドル安、1ドル=145.05円～145.07円で推移した。前日に米国の長金利が4%を下回ったことで日米の金利差縮小を見込んだ円買いドル売りが先行した。ただ、米国の23年12月のCPIがインフレの根強さを印象付ける内容だったことからFRBの早期利下げ観測の後退が意識され円の重荷になっている。円は対ユーロでも上昇。8時30分、前日17時と比べ0.42円の円高ユーロ安、1ユーロ=159.21円～159.24円で推移した。

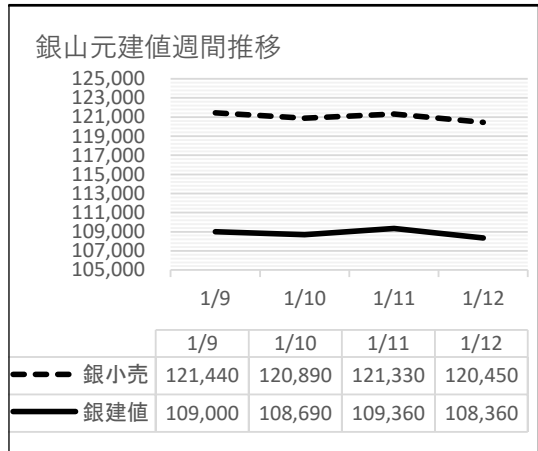


金銀山元建値週間推移

1月9日～1月12日



12月平均	建 値	小 売
金(¥/g)	9,459.26	10,434.00
銀(¥/kg)	113,580	126,230





LME銅相場は反発 直物終値は8,262.20ドル
 COMEX銅相場は小幅反落 SHFE銅相場は反発
 LME非鉄相場は総じて堅調 直物終値は亜鉛2,481.25ドル、アルミ2,188.00ドル



12日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、1月11日入電の8,285.00ドルより47.00ドル高の8,332.00ドル。反発して0.57%高。この週0.17%の下落。1月に入って1.70%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の8,389.00ドルより37.00ドル高の8,426.00ドル。反発して0.44%高。この週0.28%の下落。1月に入って1.79%の下落。LME公認倉庫の現地1月10日銅在庫は、前日の15万8,900トンより1,575トン減の15万7,325トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、1月限が、1月11日入電の378.10セントより0.45セント安の377.65セント。反落して0.12%安。この週0.47%の下落。1月に入って2.68%の下落。2月限は、1月11日入電の377.75セントより0.30セント安の377.45セント。反落して0.08%安。この週0.62%の下落。1月に入って2.79%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、1月限が、1月11日入電の6万8,110元より130元高の6万8,240元。反発して0.19%高。この週0.34%の下落。1月に入って1.20%の下落。中心限月に当たる2月限は、1月11日入電の6万7,930元より100元高の6万8,030元。9営業日ぶりの反発で2.12%高。この週0.47%の下落。1月に入って1.36%の下落。

錫はも反発

LME錫相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2万4,025.00ドルより275.00ドル高の2万4,300.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.14%高。この週0.41%の上伸。1月に入って3.48%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2万4,350.00ドルより250.00ドル高の2万4,600.00ドル。3営業日ぶりの反発で1.03%高。この週0.61%の上伸。1月に入って3.53%の下落。LME公認倉庫の現地1月10日錫在庫は、前日の7,460トンより45トン増の7,505トン。

鉛は続伸

LME鉛相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2,050.50ドルより44.50ドル高の2,095.00ドル。5営業日の続伸で4.13%高。この週3.51%の上伸。1月に入って3.15%の上伸。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2,084.00ドルより33.00ドル高の2,117.00ドル。5営業日の続伸で3.52%高。この週3.02%の上伸。1月に入って2.37%の上伸。LME公認倉庫の現地1月10日鉛在庫は、前日の12万3,350トンより2,200トン減の12万1,150トン。

亜鉛は反発

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2,491.00ドルより17.00ドル高の2,508.00ドル。反発して

0.68%高。この週0.24%の下落。1月に入って5.02%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の2,516.50ドルより10.00ドル高の2,526.50ドル。反発して0.40%高。この週0.53%の下落。1月に入って4.80%の下落。LME公認倉庫の現地1月10日亜鉛在庫は、前日の21万5,225トンより1,550トン減の21万3,675トン。

アルミはまちまち アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の2,204.00ドルより1.00ドル安の2,203.00ドル。反落して0.05%安。この週0.56%の下落。1月に入って5.67%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電より横ばいの2,245.00ドル。この週0.80%の下落。1月に入って5.75%の下落。LME公認倉庫の現地1月10日アルミ在庫は、前日の56万1,825トンより万1,250トン減の56万0,575トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、1月11日入電より横ばいの1,785.00ドル。この週横ばい。1月に入って15.16%の上伸。3か月物の前場売値も、1月11日入電より横ばいの1,785.00ドル。この週横ばい。1月に入って15.16%の上伸。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、1月11日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。3か月物の前場売値も、1月11日入電より横ばいの2,285.00ドル。この週横ばい。1月に入って横ばい。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、1月11日入電の1万5,980.00ドルより270.00ドル高の1万6,250.00ドル。反発して1.69%高。この週3.47%の上伸。1月に入って0.31%の下落。3か月物の前場売値は、1月11日入電の1万6,210.00ドルより315.00ドル高の1万6,525.00ドル。反発して1.94%高。この週3.38%の上伸。1月に入って0.27%の下落。LME公認倉庫の現地1月10日ニッケル在庫は、前日の6万8,322トンより288トン増の6万8,610トン。

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265

LME公示価格(US\$)／1月11日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,332.00	24,300.00	2,095.00	2,508.00	2,203.00	1,785.00	2,285.00	16,250.00
	前営業日比	47.00	275.00	44.50	17.00	▲ 1.00	0.00	0.00	270.00
先物	公示価格	8,426.00	24,600.00	2,117.00	2,526.50	2,245.00	1,785.00	2,285.00	16,525.00
	前営業日比	37.00	250.00	33.00	10.00	0.00	0.00	0.00	315.00

海外非鉄金属相場

(1月12日 入電・現地 1月11日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅 A G, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫 H G, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛 S H G, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ H G, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

NY コメックス相場
出来高: 1ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 5月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入高ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

Table with columns: 米国产産者価格 (地金), 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社.

Table with columns: NY相場, 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド).

Table with columns: ロンドン相場 (ドル), 金 (オンス), アンチモン99.65% (トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド).

Table with columns: K L T M 銅 (MYR/KG, 出来高トン), 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$ / US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ.

Table with columns: LME 在庫 (トン), 在 庫, 増 減. Rows: (1/10現在) 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

Table with columns: 上海在庫 (トン), 在 庫, 増 減. Rows: (1/5現在) 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル.

Table with columns: LME プレマーケット (ドル), 先物気配. Rows: (1/12) 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, アルミ, ニッケル.

Table with columns: 上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Rows: 1月限, 2月限, 前日比, 出来高.

*12日のKLTMは入電がありません

Table with columns: 元・円 = 20.57, LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

非鉄金属製品相場

(1月12日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1590	1585	亜鉛板0.3×3×7	650	650	V V F
建築用0.3ミリ	1640	1635	印刷用亜鉛板トッパン用	750	750	2C×1.6 59~61
銅大板2×1×2	1720	1785	給水管13ミリ	280	280	2C×2.0 104~107
銅管(ベース)	1770	1785	鉛板1.5ミリ	580	580	3C×1.6 109~112
水道用管(m当たり)13ミリ	1680	1695	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 157~160
銅棒25ミリ	1500	1555	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1555	1600	アルミ箔0.007ミリ	1160	1175	1.6mm 33.8~36
銅線0.9ミリ	1580	1615	〃 小板1ミリ	795	805	5.5sq 92.7~98.6
銅帯6×50	1460	1555	〃 大板1ミリ	775	795	14sq 231~245
銅平角線	1780	1785	〃 5052板	835	845	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1295	1305	〃 6061板	1360	1375	600V 3C×38 1765~1876
〃 0.3ミリ	1325	1335	〃 2017板	1290	1405	600V 3C×60 2722~2893
黄銅大板2×1×2	1445	1485	〃 線3ミリ	775	790	600V 3C×100 4570~4858
黄銅管	1940	1785	〃 快削棒50ミリ	995	1010	6kV 3C×38 2867~3037
復水器用黄銅管	1910	1755	〃 合金棒50ミリ(17S)	980	990	6kV 3C×60 4022~4260
黄銅棒快削25ミリ	1055	1065	〃 合金棒50ミリ(56S)	935	950	CVV (関西-関東)
六角棒	1085	1095	貴金属(一般小口向け)			3C×2 135~138
四角棒	1115	1125	白金(グラム)		◆4808	4C×2 181~185
鍛造用	1095	1105	パラジウム(グラム)		◆5307	6C×2 258~264
ネーバル	1195	1205	金(グラム)		◆10486	7C×2 296~303
高力	1195	1205	銀(キログラム)		◆120450	合金鉄 11月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1480	1485	レアメタル輸入価格	11月通関 (CIF)		フェロマンガ2%以上炭素含有 158
黄銅平角線ロール仕上	1680	1695	金属ケイ素(99.99%未満)	345		〃 その他 193.9
黄銅条1.5×100	1290	1320	モリブデン酸化物	5530		フェロシリコン55%以上 237
リン青銅板一般用1.0ミリ	2920	3110	タンタル	97928		フェロクロム4%以上炭素含有 285
〃 バネ用0.3ミリ	3170	3370	マグネシウム	498		フェロモリブデン純分60%以上 5708
リン青銅棒25ミリ	3030	3240	コバルト	5354		フェロバナジウム 3184
リン青銅線3ミリ	3400	3610	インジウム	33625		フェロニッケル33%未満 562.6
洋白板一般用1.0ミリ	3630	3780				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3760	3930				

減摩合金	1月5日改定
(500kg以上、大口価格)	
1種	4485
2種	4365
3種	4235
4種	3770
5種	3540
7種	1415
8種	1260
9種	1105

銅合金地金	1月9日発表
(標準価格)	大阪
BC 1種	1285
2種	1585
3種	1655
6種	1395
7種	1490
YBSC 3種	1130
LBC 3種	1585
PBC 2種	1685



<https://home.nikkankinzoku.co.jp/>

非鉄金属材料相場

山元建値 電気銅 1240(10) 金 9,522(12)
 () 実施日 電気鉛 363(11) 銀 108,360(12)
 電気亜鉛 421(10) 錫(99.99%) 5,050(4)
 キロ当たり円 ◎上げ ◆下げ (1月12日調べ) インジウム大口~小口(99.99%) 40,000 ~ 45,000(1)

非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	
1トン以上外税持込					高値	安値	高値	安値
1 号 銅 線	1106	1099	電 気 銅	1221	1216	1223	1218	
2 号 銅 線	1064	—	電 気 亜 鉛	393	387	393	387	
上 銅 (新 切)	1077	1069	蒸 留 亜 鉛	381	375	381	375	
雑 ナ ゲ ッ ト	944	943	再 生ダイカスト亜鉛2種	329	323	329	323	
並 銅	1019	1005	再 生 亜 鉛 (98%)	286	280	286	280	
下 銅	1000	978	電 気 鉛	340	337	340	337	
銅 削 粉	980	978	再 生 鉛 1 号	317	307	320	315	
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	322	318	325	321	
新 切 黄 銅 セ バ	805	814	錫 1 号	3800	3750	3800	3750	
コ ー ベ ル	769	772	ア ン チ モ ン	1850	1800	1850	1800	
黄 銅 棒 地	747	760	ニ ッ ケ ル (メ ッ キ 用)	2400	2350	2400	2350	
黄 銅 削 粉	741	756	コ バ ル ト	5100	4800	5100	4800	
並 黄 銅	745	715	セ レ ニ ウ ム	3800	3600	3800	3600	
黄 銅 ラ ジ エ タ ー	602	594	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400	
交 叉 ラ ジ エ タ ー	693	666	カ ド ミ ウ ム	800	750	800	750	
黄 銅 鋳 物	750	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	480	460	480	460	
山 送 り (55%)	410	—	アルミ地金 99.70 %	◆ 363	◆ 359	◆ 365	◆ 361	
上 青 銅 鋳 物	870	—	アルミ二次地金 99 %	328	323	328	323	
並 青 銅 鋳 物	868	853	〃 90 %	308	303	308	303	
上 青 銅 鋳 物 削 粉	863	—	アルミ二次合金ADC12	421	416	424	419	
並 青 銅 鋳 物 削 粉	853	838	鋳 物 用 C2BS	446	441	448	443	
新 切 リ ン 青 銅 (伸 銅)	—	1098	青 銅 合 金 地 金 3 種	1575	1565	1655	1645	
〃 (鋳 物)	984	—	〃 6種	1325	1315	1345	1335	
リ ン 青 銅 削 粉	902	891	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030	3000	
新 切 洋 白 (電 子 材)	914	898	〃 50 %	2615	2565	2635	2605	
新 切 亜 鉛	257	257	〃 40 %	2285	2225	2240	2210	
ダイカストくず	170	170	減 摩 合 金 2 種	4270	4240	4275	4245	
亜 鉛 ド ロ ス	150	155	〃 4 種	3710	3685	3715	3685	
上 鉛	192	190	〃 7 種	1360	1310	1360	1310	
電池素鉛ケース込	80	80	ス テ ン レ ス ・ 特 金 18-8ステンレス 新切			55	60	
活 字 鉛	171	168	〃 ダライ粉			40	45	
新 切 アル ミ 1 級	238	247	高 耐 食 ス テ ン レ ス SUS316			185	185	
新 切 サ ッ シ 1 級	240	245	耐 熱 ス テ ン レ ス SUS310			285	285	
新 切 合 金 1 級	230	230	13クローム 新切			28	29	
機 械 鋳 物 1 級	210	226	ハ イ ス 9種			190	190	
ビ ス 付 サ ッ シ P	222	220						
合 金 削 粉 P	165	165						
込 ガ ラ P	138	140						
カ ン ・ バ ラ	163	158						


 非鉄金属材料相場面
 PW:nikkin202401